

つるおか

市議会

令和5年

12月定例会号
R6.2.1発行

Vol. 78

だより



二十歳を祝う会 (1月7日/荘銀タクト鶴岡)

二十歳という人生の節目を迎え、振り袖やスーツなどに身を包んだ参加者たち。大人としての自覚を新たにするとともに、久しぶりの旧友との再会を喜びました。

新議会体制	P 2
定例会の概要	P 4
議案一覧	P 5
定例会のポイント	P 6
委員会審査	P 7
総括質問	P 8
一般質問	P 11

新しい議会体制が決まりました

11月13日に臨時会を開催し、議長・副議長選挙をはじめ、常任委員会委員等の選任を行い、新議会体制を決定しました。（11月臨時会に上程された議案の審議結果等は5ページ）



議長 尾形昌彦

就任のあいさつ

11月臨時会で議長並びに副議長に就任しました。これまで議会改革特別委員会で協議してきた鶴岡市議会議員政治倫理条例の改正、議会基本条例の制定について前に進め、守るべき部分は守り、変えるべき部分は変え、秩序ある議会運営に努めてまいります。

多様な考えを汲み取りつつ、守るべきルールの中で議員が^{かたつ}闊達に本市の未来について前向きな意見交換ができるような環境を整備し、本市の発展のために力を尽くしてまいります。



副議長 石井清則

正副議長は、議員全員の投票によって決定します。

【議長選挙結果】

尾形昌彦	議員	15票
菅井巖	議員	4票
草島進一	議員	2票
田中宏	議員	2票
本間信一	議員	2票
無効		1票

【副議長選挙結果】

石井清則	議員	12票
小野由夫	議員	12票
無効		2票

※同数となったため、くじにより決定。

委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会

円滑な議会の運営のため、議会運営全般について協議します。

◎秋葉 雄 ○佐藤 昌哉

草島進一 田中 宏 工藤 博
坂本 昌栄 菅井 巖 本間 正芳
五十嵐一彦 渋谷 耕一

広報広聴委員会

議会だよりの編集など、議会の広報広聴について協議します。

◎長谷川 剛 ○南波 純

草島進一 黒井 浩之 佐藤 久樹
本間 正芳 小野 由夫 石井 清則

高速交通等対策特別委員会

高速道路や空港、羽越本線の高速化など、高速交通基盤の整備促進について調査研究をします。

◎五十嵐 一彦 ○草島 進一
南波 純 長谷川 剛 秋葉 雄

人口減少・地域活性化対策特別委員会

地域活性化に向けて人口減少及び過疎化について調査研究をします。

◎富樫 正毅 ○坂本 昌栄

遠藤 初子 南波 純 佐藤 久樹
本間 正芳 佐藤 昌哉

議会改革特別委員会

議会機能の充実・強化及び議会運営の活性化について調査検討をします。

◎黒井 浩之 ○佐藤 久樹

草島進一 田中 宏 工藤 博
長谷川 剛 菅井 巖 佐藤 昌哉
五十嵐一彦 本間新兵衛

百条調査特別委員会

皆川治市長の選挙運動費用収支報告書不記載・訂正等問題(*)と本市職員に対するパワハラ疑惑について調査をします。

◎佐藤 博幸 ○菅井 巖
草島進一 田中 宏 工藤 博
坂本 昌栄 秋葉 雄 黒井 浩之
佐藤 昌哉 五十嵐一彦 小野 由夫
渋谷 耕一

※選挙運動費用収支報告書不記載・訂正等問題に関する調査は令和5年9月28日に終了しています。

予算特別委員会

予算を審査します。

◎五十嵐 一彦 ○黒井 浩之

全議員で構成

常任委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

総務常任委員会

税金、財産、地域振興などについて審査します。



渋谷 耕一 五十嵐 一彦 本間 信一 黒井 浩之
加藤 鑛一 ◎本間 正芳 ○草島 進一

市民文教常任委員会

市民生活、消防、教育などについて審査します。



石井 清則 佐藤 麻里 長谷川 剛
小野 由夫 ◎田中 宏 ○佐藤 久樹

厚生常任委員会

子育て、医療、福祉などについて審査します。



遠藤 初子 ○佐藤 博幸 中沢 深雪
尾形 昌彦 ◎坂本 昌栄 秋葉 雄

産業建設常任委員会

農林水産、都市計画、観光などについて審査します。



菅井 巖 南波 純 富樫 正毅 阿部 寛
本間 新兵衛 ◎佐藤 昌哉 ○工藤 博

会派の紹介 会派とは…政策や考え方を同じくする議員の集まりです。

◎代表者

創政クラブ

◎五十嵐 一彦 佐藤 博幸
佐藤 久樹 本間 正芳
佐藤 昌哉 小野 由夫
本間 新兵衛 渋谷 耕一
尾形 昌彦

日本共産党鶴岡市議団

◎菅井 巖 長谷川 剛
坂本 昌栄 加藤 鑛一

鶴岡市議会公明党

◎黒井 浩之 秋葉 雄
富樫 正毅

市民の声・鶴岡

◎草島 進一 遠藤 初子

SDGs 鶴ヶ岡

◎田中 宏 南波 純

市民フォーラム

◎工藤 博 石井 清則

無所属

本間 信一
中沢 深雪
阿部 寛
佐藤 麻里



12月定例会日程

5日	本会議(総括質問) 予算特別委員会
7・8・11日	本会議(一般質問)
12~15日	常任委員会
21日	本会議 予算特別委員会
22日	本会議

7日、8日、11日の3日間、24人の議員が市当局に対し、市政全般について一般質問を行いました。(質問内容は11~15頁)

24人が一般質問

同日、本会議終了後に、議員全員による予算特別委員会を開催しました。付託された予算議案4件についての提案説明が行われ、各分科会に分割付託しました。

予算特別委員会を開催 提案趣旨を説明

上程された議案は、予算議案は予算特別委員会に、条例及び事件議案は所管の常任委員会に付託しました。

12月定例会の概要

58施設の指定管理者を可決
補正予算、条例議案など
74件を審議

12月定例会は、12月5日に開会し、市当局が66件の議案を提出しました。請願2件については、所管の常任委員会に付託しました。
上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書2件を含め審議し、18日間の会期を経て12月22日に閉会しました。(議案・請願・意見書の内容と審議結果は5頁)

各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

12日に総務、13日に市民文教、14日に厚生、15日に産業建設の各常任委員会及び予算特別委員会分科会を開催しました。

常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員会分科会として、予算議案の審査を行いました。(審査内容は7頁)

また、総務及び厚生常任委員会では、付託された請願の審査を行いました。

請願1件を採択 予算特別委員会で分科会報告

21日の本会議では、意見書提出を求める請願について、各所管の常任委員長が審査報告を行い、請願第10号は表決の結果、全員賛成で採択とし、請願第9号は討論の後、表決の結果、賛成少数で不採択となりました。



本会議終了後に開催した予算特別委員会では、各分科会委員長が予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で可決しました。

意見書2件を可決、条例・事件 予算議案は全員賛成で可決

最終日の22日の本会議では、議員提出の意見書2件を審議し、議案第11号及び議会第12号は表決の結果、全員賛成で可決しました。

次に、各常任委員長が条例及び事件議案について、予算特別委員長が予算議案についての審査報告を行い、議第76号から議第141号までの66件は表決の結果、全員賛成で可決しました。最後に、市当局が追加議案を提出し、議第142号は質疑の後、表決の結果、全員賛成で可決、議第143号から議第145号までの3件は表決の結果、全員賛成で可決しました。

本市の施策が注目されています

令和5年 行政視察受入状況

鶴岡市議会では、全国各地の議会からの視察を受け入れています。

令和5年中は、北海道から鹿児島県まで25議会151人が来鶴しました。本市の施策が注目されることで、交流人口の増加につながることが期待されます。

★主な視察項目

- ・地域公共交通(市内循環バス)
- ・食文化創造都市推進事業
- ・BISTRO下水道
- ・つるおかランド・バンク(空き家対策事業)
- ・鶴岡サイエンスパーク



市街地を走る循環バス

▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第76号	令和5年度鶴岡市一般会計補正予算(第6号)	予算特別	可決 (全員賛成)
議第77号	令和5年度鶴岡市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	予算特別	
議第78号	令和5年度鶴岡市介護保険特別会計補正予算(第2号)	予算特別	
議第79号	令和5年度鶴岡市下水道事業会計補正予算(第1号)	予算特別	
議第80号	鶴岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について 地方自治法の改正に伴い、会計年度任用職員に勤勉手当を支給できるようにするもの	総務	
議第81号	鶴岡市立加茂水族館リニューアル工事請負契約の締結について	総務	
議第82号	鶴岡市立加茂水族館リニューアル機械設備工事請負契約の締結について	総務	
議第83号	鶴岡市立加茂水族館リニューアル電気設備工事請負契約の締結について	総務	
議第84号	旧鶴岡病院解体工事請負契約の締結について	総務	
議第85号	指定管理者の指定について(出羽庄内国際村)	総務	
議第86号	鶴岡市印鑑条例の一部改正について 印鑑登録証明書のコンビニ交付の際に、マイナンバーカードのほか、あらかじめ電子証明書を設定したスマートフォンでも交付できるようにするもの	市民文教	
議第87号～議第117号	指定管理者の指定について (鶴岡市第一学区コミュニティ防災センターほか30件)	市民文教	
議第118号～議第131号	指定管理者の指定について (鶴岡市湯野浜上区公衆浴場・鶴岡市湯野浜下区公衆浴場ほか13件)	厚生	
議第132号～議第141号	指定管理者の指定について(鶴岡市勤労者会館ほか9件)	産業建設	
議第142号	令和5年度鶴岡市一般会計補正予算(第7号)	省略	
議第143号	鶴岡市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	省略	
議第144号	鶴岡市手数料条例の一部改正について	省略	
議第145号	鶴岡市国民健康保険税条例の一部改正について	省略	

▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第11号	医療機関・介護施設・障害福祉施設への支援の拡充と、患者・利用者の負担を軽減し、診療報酬・介護報酬等の大幅な引き上げを求める意見書の提出について	省略	可決 (全員賛成)
議会第12号	学校における教員不足と長時間労働解消のために教職員定数改善と国の教育予算の拡充を求める意見書の提出について	省略	

▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第9号	イスラエルの「ガザ」パレスチナ軍事侵攻の即時停止とパレスチナの自由と平和を求める意見書の提出を求める請願	総務	不採択 (賛成少数)
請願第10号	医療機関・介護施設への支援の拡充と、患者・利用者の負担を軽減し診療報酬・介護報酬を大幅に引き上げるための意見書の提出に関する請願	厚生	採択 (全員賛成)

11月臨時会の概要

11月13日開催の臨時会における議案の審議結果は次のとおりです。

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第71号	西目地区土砂災害復旧工事請負契約の一部変更について	省略	可決 (全員賛成)
議第72号	鶴岡市朝日庁舎・消防署朝日分署改築工事請負契約の締結について	省略	
議第73号	鶴岡市朝日庁舎・消防署朝日分署改築機械設備工事請負契約の締結について	省略	
議第74号	鶴岡市朝日庁舎・消防署朝日分署改築電気設備工事請負契約の締結について	省略	
議第75号	財産の取得について(可搬式冷房機器35台)	省略	
選第1号	庄内広域行政組合議会議員の補欠選挙(議会提出)	—	指名推選

物価高騰対策消費喚起クーポン券 事業【第2回】を含む補正予算を可決

定例会最終日に、今年度2回目となる消費喚起クーポン券事業を行うための経費を含む補正予算案が提出され、全員賛成で可決しました。同事業の内容を紹介します。

12月定例会のポイント

クーポン券の配付対象・内容

- ・全市民にクーポン券1セットを送付
- ・1セット2,000円(500円×4枚)
内訳：飲食券2枚、共通券2枚
- ・支払1,000円ごとにクーポン券1枚(500円)の利用が可能

クーポン券利用可能事業者(登録制)

市内の中小・小規模事業者の店舗
(大手チェーン店、コンビニエンスストア、ドラッグストア等は対象外)

発行金額

2億4,000万円(2,000円×12万セット)

連携事業補助

利用期間中に商店街等複数の事業者が連携して行う誘客事業に対して補助を行う。

【補助金額】

- 5～9事業者の連携体：20万円以内
- 10事業者以上の連携体：50万円以内

事業費

2億5,911万円

利用期間

令和6年春頃の開始を予定

実施体制

鶴岡商工会議所、出羽商工会、鶴岡市金融協会、鶴岡市で実行委員会を組織

議員はこんな質疑をしました 同事業についての質疑の一部を紹介します。

問第1回同事業の検証結果次第では、全部を共通券にする考えもあるのか。

答特定の店舗や業種に偏らずに効果が行き渡るよう、飲食券と共通券に分けている。

問クーポン券利用の開始予定は。

答年度末、年度初めに需要が高くなると認識しているため、3月中には開始できるように準備を進めていきたい。

問連携事業補助について、第1回での実施状況と、成果として期待することは。

答一例として、商店街でスタンプラリーを実施し、利用拡大を呼び掛けている。より多くの店舗に利用が波及することを期待している。

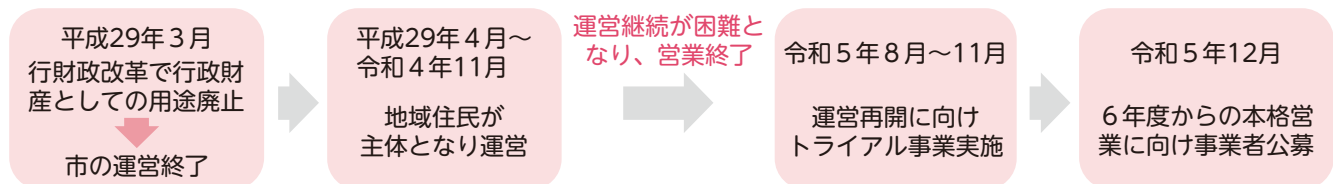


第1回同事業のクーポン券

かたくり温泉利活用トライアル事業 結果を踏まえた補正予算を可決

かたくり温泉ぼんぼの営業再開に向けた温泉設備等の不具合箇所修繕及び点検経費を含む補正予算案が提出され、総括質問や委員会審査で多くの質問がありました。

かたくり温泉の経過



トライアル事業の概要

○内容

施設運営に参画意欲がある民間事業者が、温泉入浴事業と地域振興につながる自主事業を実施する。

○目的

- ・実際の施設運営を通じて課題を把握する。
- ・本格的な事業化の実現可能性を確認する。
- ・民間事業者等が参画しやすい公募条件を検討するための判断材料を得る。

委員会審査

提案された議案をそれぞれ所管の委員会に付託して審査します。審査の主なものを掲載します。

予算特別委員会 総務分科会

結婚新生活支援事業の状況は

委員 結婚新生活支援事業補助金について、このたびの補正による補助件数の見直しは。また、近隣市町での同事業の実施状況は。

地域振興課長 結婚新生活支援事業補助金は、結婚に伴って生じる経済的負担を軽減することで、若い世代の結婚促進を図ることを目的に、住居賃借費用と引っ越し費用に補助するものであるが、補助件数は令和4年度からの継続補助世帯が38世帯、5年度の新規補助世帯が67世帯、合計で105世帯と見込んでいる。また、近隣市町の状況としては、庄内では遊佐町を除く2市2町で実施しており、補助金額は同等であるが、住宅取得費用など補助対象としていない自治体もある。



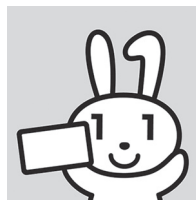
市民文教常任委員会

マイナポータルへの安全性は

委員 利用者証明用電子証明書が

記録されたスマートフォンの利用により印鑑登録証明書のコンビニ交付が可能となるが、セキュリティ面での問題はないのか。

市民課長 マイナンバー制度を所管するデジタル庁の説明によれば、スマートフォン利用の利用者証明用電子証明書は、マイナポータルアプリからのみアクセスできる場所に格納されており、スマートフォン本体には税や年金等の情報は記録されていないこと、また、マイナポータルアプリ自体のセキュリティも十分高く設定されていることから、安全性は担保されている。



予算特別委員会 厚生分科会

かたくり温泉ぼんぼへの支援は

委員 かたくり温泉の修繕及び点検経費約2,400万円の内訳は。また、トライアル事業の際、温泉設備の修繕費用を事業者が負担しているが、運営再開後に温泉設備の不具合が発生した場合も、事業者が負担するのか。



かたくり温泉ぼんぼ (熊出)

朝日庁舎市民福祉課長 経費の主な内訳は、源泉ポンプの交換に約400万円、源泉ろ過装置及び除鉄装置などの修繕に約850万円、浴室を中心とした水回り修繕に約600万円、各種設備の点検費用として約70万円である。温泉設備の不具合については、事業者が負担するのではなく、市で対応することを検討していく。

委員 かたくり温泉の営業再開に向け、事業者に対する支援をどのように想定しているか。

朝日庁舎市民福祉課長 事業者を公募する際に提出される収支計画や事業計画等を見ながら、6年度以降の支援を具体的に検討していく。これまで光熱水費相当額を支援してきた経過があるため、同様の支援を想定している。

予算特別委員会 産業建設分科会

湯殿山トイレ設置工事費増額の要因は

委員 湯殿山登山道トイレ設置工事費について、当初予算額の2倍以上となった理由は。

朝日庁舎産業建設課長 資材費と輸送費の高騰のほか、コロナ禍後の登山者や外国人観光客の増加による1日当たりのトイレの利用者数の増加を見込み、処理槽のサイズを大きなものに見直したことに由来するものである。

大雨災害復旧に係る国や県の補助は

委員 5年10月の大雨による朝日地域の林道災害の復旧事業に対して、国や県の補助金は。また、受益者負担金は発生するのか。現地は降雪量が多いと想定されるが、冬場の復旧工事は可能なのか。

農山漁村振興課林業振興主幹 国に災害申請をし、県を経由して補助金780万円が交付される予定である。また、受益者負担金は発生しない。予算を来年度に繰り越し、降雪期を避けて工事を実施する予定である。



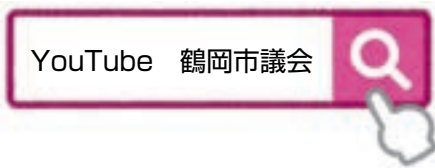
総括質問

市長提出議案に対して、
会派を代表して質問します。
各議員1項目について概要をお知らせします。

YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。



質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

ワクチンの接種状況と接種費用の見通しは

創政クラブ 五十嵐 一彦 議員



議員 新型コロナウイルスワクチン接種は回数を重ねるにつれて接種率が低下しているようだが、本市の現状は。また、接種費用の自己負担について今後の見通しは。

市長 65歳以上の接種率で見ると、令和4年の秋接種が81・4%、5年の秋接種が11月26日現在で50・1%となっている。なお、5年の秋接種は、初回接種が終了した生後6か月以上の方が対象であり、約3万人が接種を終え、全体の接種率は25・5%となっている。新型コロナウイルスワクチン接種は、3年2月から国が接種費用を負担し、自己負担なく接種ができる特例臨時接種となっているが、5年度末をもって特例臨時接種は終了し、6年度以降は自己負担のある接種に移行する方針が示されている。ワクチン接種の具体的な金額については現時点で示されていないことから、引き続き国の動向を注視していく。

ほかの質問

第2次総合計画の後期基本計画、産業振興及び物価高騰対策など

「かたくり温泉ぼんぼ」継続に向けた支援は

日本共産党鶴岡市議団 坂本 昌栄 議員



議員 かたくり温泉ぼんぼは行政目的を持たない普通財産となり、行政支援の範囲が狭められたことが現在の状況を生み出した。今般行った民間事業者による利用トライアル事業と隣接する施設「健康の里ふくら」の介護予防事業の評価と、今後の対応は。

市長 トライアル期間の71日間で温泉入浴事業には延べ1万620人、1日当たり約150人の利用があり、当初の目標を上回った。介護予防事業については、入浴と組み合わせた取組が可能となったことで新規参加者が増加している。トライアル事業が契機となり、地域における施設を活用した事業の必要性を改めて認識した。今後、実施事業者の公募・選定が予定されており、トライアルに参加した事業者も応募を予定している。介護予防・健康増進事業等を継続できるように、市も支援していく。

ほかの質問

西目地内土砂災害、インバウンド観光戦略、農業

二次交通を支えるタクシー事業者への支援は

鶴岡市議会公明党 黒井 浩之 議員



議員 交流人口を拡大して地域の活力を維持することは必須の取組であり、特にインバウンドによる観光消費を伸ばしていくことは喫緊の課題だ。しかし、コロナ前と比べ、二次交通(※1)、特にタクシー不足が顕著で、対策を急ぐ必要がある。県では第二種免許取得費用の2分の1を補助する事業を実施しているが、タクシーは市民生活を支える公共インフラでもあることから、市も積極的に支援しては。

市長 本市のタクシー運転手の数は、平成30年度に169人いたが、令和4年度は143人と約15%減少しており、人手不足で予約に対応しきれないなどの課題がある。タクシーは公共交通のない観光地への二次交通としても重要な役割を担っており、市としても、県の支援制度等の情報収集を行うとともに、観光二次交通対策に必要な政策を更に検討していく。

ほかの質問

本市の経済状況と対応、スクールバス運行の考え方

※1 二次交通…鉄道主要駅や空港等の交通拠点と目的の観光地を結ぶ交通アクセス。

小学校指導者用デジタル教科書の整備状況は

SDGs 鶴ヶ岡 南波 純 議員



議員 教育現場では、指導者用デジタル教科書(※2)の整備に対する要望があるが、整備状況や予算措置は。

教育長 教科の特性や各校の需要を踏まえ、小学5年・6年生の算数・外国語で既に整備しており、活用も進んでいる。ほかの学年、教科については、各校の配当予算で、実情や教員のニーズに合わせて対応している。

議員 デジタル教科書を投影する大型テレビは、授業以外にも行事など多目的に活用されているが、老朽化が進んでいる。更新のための予算化の見通しは。

教育長 大型テレビ等の大型提示装置を活用した資料提示は有効であると認識している。一方で、全児童に貸与したタブレット型パソコンを活用しての資料提示も可能になっている。今後、タブレット型パソコンの更新も必要となることから、優先順位を付けて更新を検討していく。

ほかの質問

中期観光戦略プラン

※2 指導者用デジタル教科書…教員が提示用に使う教科書。拡大や書き込みのほか、収録された映像教材を流すことなどができる。

全市民参加で食文化を中心にした観光戦略を

市民の声・鶴岡 草島 進一 議員



議員 ヴィーガン(完全菜食主義)調理の第一人者で、世界で活躍する杉浦仁志シェフは「鶴岡はガストロノミーツーリズム(※3)の聖地」と言及した。また、鎌田東二京都大学名誉教授は「芭蕉の奥の細道の『奥』の究極は湯殿山である」と言及した。観光は全市民の経済が連関する産業であり、特に食文化の観光は、市民の食卓が世界につながる可能性がある。食文化を中心に全市民で稼ぐ観光戦略が必要と考えるが、見解は。

市長 ガストロノミーツーリズムは、宿泊施設はもとより、農林漁業、飲食、食品加工、土産など幅広い分野に経済的な波及効果が期待できる取組であり、観光政策の大きな柱として推進し交流人口の拡大を目指す。市民が鶴岡の食文化に誇りを持ち、観光を支える一員となることで、聖地としての鶴岡の地位が確固たるものになると考えている。

ほかの質問

第2次総合計画

※3 ガストロノミーツーリズム…その土地の気候風土が生んだ食材、習慣、伝統、歴史などによって育まれた食を楽しみ、旅をすること。

「かたくり温泉ぼんぼ」の今後の活用は

市民フォーラム **工藤 博** 議員



議員 かたくり温泉ぼんぼの営業再開に向けて、朝日地域の住民は努力している。同施設の今後の活用について、市の見解は。

市長 市が平成28年度に同施設の設置及び管理条例を廃止し、行政財産から普通財産となった後も、地域住民から成る管理運営組合の運営で、「いきいきぼんぼの会」による介護予防・健康増進事業や、いきいき百歳体操を実施するなど、同施設は地域住民の健康づくりの拠点としての役割を果たしてきた。同施設の利活用を目的に実施した民間事業者によるトライアル事業では、利用者数が目標を上回る結果となり、地域に必要な拠点施設であることが確認できた。今後、本格運営する事業者の公募・選定を予定しており、営業再開後は、温泉の運営への支援に加え、施設を活用した介護予防・健康増進事業にも引き続き支援していきたいと考えている。



議会の開催状況

令和5年中は4回の定例会（3月、6月、9月、12月）と3回の臨時会（4月、7月、11月）が開催されました。

◎議会の開催状況（単位：回・日）

招集回数		会期日数		本会議日数	
定例会	臨時会	定例会	臨時会	定例会	臨時会
4	3	84	3	25	3

◎常任委員会の開催状況（単位：回）

	総務	市民文教	厚生	産業建設
委員会	5	5	5	5
分科会	5	5	5	5
協議会	1	1	2	1

◎議会運営委員会 20回 ◎広報広聴委員会 15回 ◎議員全員協議会 3回

◎提出議案の状況（単位：件）

市長提出						議員提出					請願		
予算	決算	条例等	事件	人事	計	条例	決議	意見書	その他	計	受理	継続	計
25	4	28	80	8	145	1	2	9	0	12	10	0	10

◎審査の状況（単位：件）

市長提出						議員提出				請願		
可決	否決	同意	承認	認定	可決及び認定	計	可決	否決	計	採択	不採択	計
130	0	8	3	2	2	145	11	1	12	3	7	10

百条調査特別委員会

皆川治市長の本市職員に対するパワハラ疑惑に関する事項について調査を進めています。

令和5年9月定例会で選挙運動費用収支報告書不記載・訂正等問題について調査報告を行って以降、皆川治市長の本市職員に対するパワハラ疑惑に関する事項を調査するため、計9回、第48回までの委員会を開催しています。（6年1月18日現在）

同調査事項に関する委員会は、対象者のプライバシーや人権保護のため、そのほとんどを非公開で行っています。

今後も証言や記録の精査・分析を進め、事実を解明するため、引き続き調査していきます。

「誰一人取り残さない」 避難の在り方は

田中 宏 議員



議員 避難所での妊産婦・乳幼児への対応は。
危機管理監 専用スペースを設ける等の対応を想定しているが、他自治体の例も研究していく。
議員 個別避難計画（※1）の作成状況は。また、障害のある方等の要配慮者について、日頃利用する施設等の福祉避難所への直接避難を促進する方針が国から示されているが、対応は。
健康福祉部長 個別避難計画は、対象となる約1万3,000人のうち、381人分が作成済みで、約800人分を作成中である。要配慮者が福祉避難所へ直接避難を行うためには個別避難計画の作成が必要であり、作成作業を進めていく。

ほかの質問

大山上池・下池及びラムサール条約、交通安全

※1 個別避難計画…災害時に自ら避難することが難しい一人暮らしの高齢者、要介護者、障害者などがどのような避難行動を取ればよいのかについて、一人ひとりの状況に合わせ、あらかじめ本人と家族、地域住民、福祉専門職等と確認し、個別に作成するもの。

高齢者の終活支援を 充実させよ

秋葉 雄 議員



議員 人生の終わりを迎えるに当たり、葬式の事前手配、遺言の作成、相続などを計画的に前向きに準備・整理する終活がブームとなっている。人生100年時代を受けて、残された日々が有意義なものとなるよう、高齢者福祉の観点から官民協働事業として終活支援を検討しては。
健康福祉部長 終活に対する市民の関心の高さは認識しているが、終活の相談には、まずは市民課に設置している総合相談室を活用いただきたいと考えている。複雑多様化する個々の事情に寄り添い、内容に応じて関係機関と連携して、老後の不安解消につながるよう努めていく。

ほかの質問

地域共生の取組、地域公共交通網の確保

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市当局に質問します。
各議員1項目について概要をお知らせします。

質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。
※総括質問を行った議員を除く19人の質問を掲載します。

YouTube

「鶴岡市議会チャンネル」

本会議の生中継・録画配信を行っています。



YouTube 鶴岡市議会



“大道堰”持続可能な 管理体制の構築を!!

富樫 正毅 議員



議員 市街地を流れる農業用水路には、農業者の減少により適切な維持管理ができない水路があり、大道堰（※2）については環境の悪化による苦情が出ている。冠水被害のおそれもあるため、対策が必要と思われるが、見解は。
建設部長 市街地にある農業用水路には雨水排水路としての機能があり、大道堰は、加えて都市下水路の機能も担っている。冠水対策が必要な場合は水利組合と協議、協力しながら維持管理を行い、管理者が不明な水路については、土砂等の堆積状況によって現場を確認し、必要があれば土砂上げなどの対応をしていく。

ほかの質問

雪に強いまちづくり

※2 大道堰…約340年前に造られた農業用水路。青龍寺川の稻生分水口から鶴岡市内を北東に伸びる水路で延長は約4.5km。

積み上がった基金で 介護保険料の引下げを

菅井 巖 議員



議員 介護給付費の準備基金が今年度末に15億5,400万円となる。65歳以上の被保険者の保険料基準額は県内13市で一番高く、積み上がった基金を保険料引下げに使うべきでは。

健康福祉部長 介護保険料は、計画期間の3年間の介護保険料を財源とし、介護給付等全ての事業を賄うために必要な費用に応じて算定している。また、国では介護報酬改定の議論が続いており、引上げとなる見通しである。今後、団塊世代の介護需要が高まり、介護給付費の大幅な上昇も予想されるため、将来の人口をはじめ、様々な影響を踏まえて慎重に検討していく。

ほかの質問

持続可能な地域農業の在り方

会計年度任用職員の割合は

長谷川 剛 議員



議員 非正規雇用者が急増している。その7割が女性であり、男女賃金格差の最大の要因となっている。本市職員のうち、会計年度任用職員の割合と男女比は。また、非正規雇用から正規雇用への採用実績は。

総務部長 令和5年4月1日現在の全職員数2,770人のうち、会計年度任用職員は883人で、全体に占める割合は約31.9%である。男女比は、おおよそ2対8となっている。会計年度任用職員として勤務していた方が職員採用試験を経て、正職員として採用される例があり、今年度は6人を採用している。

ほかの質問

ごみのリサイクル、若者の支援

本市の小学校の 教科担任制は

本間 正 芳 議員



議員 教科担任制度の実態や将来的な構想は。
教育長 5年度、教科担任制に係る専科教員の新たな加配枠として、小学校7人と中学校1人の計8人が配置されたが、既存の加配枠に置き換えられているため、純粋な職員数の増加ではない。この加配のうち、中学校の教員は小学校に出向いて体育を指導している。市としても、教科担任制の拡充は望ましいと考えており、教員の確保や加配増加を県に要望していく。

議員 ほかの加配も含めた全体の配置状況は。
教育長 特別支援学級関係の加配など、5年度は小・中学校合計で53人が配置されている。

ほかの質問

中学校部活動改革、
公共施設及び施設備品の管理

小中一貫教育は誰が 起案し協議題にしたか

加藤 鑛 一 議員



議員 小中一貫教育の導入は、6・3・3・4制という単線型の教育制度が複線化される重要な問題である。誰が導入を起案し提案したのか。

教育長 鶴岡型小中一貫教育の全市展開については、教育委員会事務局内で検討し、本市の教育課題の解決につながるものと考え、同部署で4年度第1回総合教育会議の協議題とすることを起案し、総務部長の決裁を受けたものである。

議員 情報公開請求をしたところ、起案・決裁文書もなく、記録がないとの回答であったが。
教育部長 開示請求の範囲を限定的に捉えていたため、改めて確認し開示の作業を進めている。

ほかの質問

なし

冬眠しないクマ 出没時の対策は



佐藤 久樹 議員

議員 今夏の酷暑で山の実が少なくなっており、冬眠しないクマがいると聞くと、市の対応は。

農林水産部長 今年度のクマ出没状況は昨年度より100件増えている。今年は冬眠するはずのクマが出没する可能性があるといわれており、これを広く周知することが重要である。遭遇した場合の対処方法等と合わせ、市の公式LINE等に掲載して周知を図る。また、市街地等に出没した場合は、人命に関わる可能性もあり迅速な対応が必要となるので、警察や猟友会等の関係機関と綿密な連携を図り、人的被害が発生しないように対応していく。

ほかの質問

ボランティアへの取組、保育施設運営、不登校の児童生徒の現状と今後の対応

鶴岡中央工業団地雨水 対策事業の進捗状況は



小野 由夫 議員

議員 日和田排水区、茅原第2排水区、道形第1排水区の進捗状況は。

建設部長 日和田排水区は、雨水を排水する樋門のサイズ拡大と延長242mの水路改修を順次進めており、進捗率は5年度末で44.1%の見込みである。茅原第2排水区は、2年度に総延長880mの幹線排水路の改修工事に着手し、進捗率は71.7%で、8年度完了の見込みである。道形第1排水区は、農業用水路である茅原堰の改修とともに新たな幹線排水路を整備し、総延長2,800mの改修を計画している。工事は4年度に着手し、進捗率は7.8%の見込みである。

ほかの質問

渡前地区地域活動センターの体育館施設整備

農業経営者育成学校 SEADSの実績は



佐藤 昌哉 議員

議員 2年4月の開校以来、1期生と2期生が修了したが、入校者・退校者・就農者の状況は。また、施設運営に係る全体経費は。

農林水産部長 1期生、2期生は合計22人が入校し、退校者8人、修了者14人で、修了者の就農形態は、雇用就農7人、独立就農5人、親元就農2人となっている。SEADSに係る全体経費は、2年度は施設管理費1,210万円、研修運営費2,450万円、プロモーション費2,180万円で合計5,840万円、3年度は同じ費目で合計5,760万円、4年度は合計4,690万円となっている。

ほかの質問

鳥獣被害対策とジビエ加工施設の整備

2040年問題を見据えた 介護保険事業計画を



佐藤 博幸 議員

議員 認知症基本法の成立を踏まえ、6～8年度と同計画に認知症施策をどう盛り込むのか。

健康福祉部長 共生と予防を両輪とし、生活支援や介護予防の強化、介護人材の育成を進める。

議員 団塊世代が75歳以上になる2025年、高齢者人口がピークとなる2040年を見据えた在宅医療と介護の連携など地域包括ケアの構築は。

健康福祉部長 医療・介護を一体的に提供する地域包括ケアパスの構築等体制を強化していく。

議員 介護予防のため介護支援ボランティアを行う人にポイントを付与し、活動を支援しては。

健康福祉部長 他市の事例を参考に検討したい。

ほかの質問

なし

猛暑被害への支援策は

渋谷 耕一 議員



議員 記録的な猛暑による各種農産物の品質低下や収量減少は、自然災害に等しいと考えるが、災害認定できないのか。また、今後の支援策は。

農林水産部長 そば、大豆に広域的に被害があり、産地交付金や畑作物の直接支払交付金において、自然災害の特例が適用されるよう国と調整している。今後の支援策として、国の肥料高騰対策事業に市独自の支援策を組み合わせた次期作支援などを検討している。

議員 猛暑に強い雪若丸の作付け拡大の対応は。
農林水産部長 作付けには県に申請が必要であり、希望者の申請漏れがないよう周知している。

ほかの質問

土木・建設事業の工事の在り方

地域に根ざした P F I 事業の推進を

本間 新兵衛 議員



議員 地域経済や地域社会貢献に焦点を当てたローカル P F I (※1) の推進に対する見解は。

総務部長 ローカル P F I の特長は、地域企業の参画、取引拡大や雇用機会の創出、地域の資材や食料等の活用、地域人材の育成の推進であり、地域に多くのメリットをもたらすことを目的としている。事業を地元主体で推進していく上で、特に地域企業の参画の推進が重要な取組となる。今後、ローカル P F I の推進に当たり、地域企業が参画するための準備や手続が負担にならないよう、商工団体や地域金融機関などと連携して、理解促進を図っていく。

ほかの質問

文化財保存活用地域計画

※1 P F I…Private Finance Initiative。民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の建設や維持管理等を行う公共事業の手法。

部活動の地域移行支援拡大を検討

石井 清則 議員



議員 国・県の部活動改革の考えを踏まえ、部活動は民間クラブ等に地域移行が進んでいる。民間クラブ等の活動には、金銭的負担などの課題が出てきているが、現在の支援状況と今後の支援への考えは。

教育長 市の体育施設を使用する際は、申請により会場使用料全額と、設備使用料半額を減免している。また、今年度は国の事業を活用し、陸上競技のクラブの事務局員への賃金や指導者への謝金・交通費を支援し、持続可能な体制整備に取り組んでいる。今後も各競技団体や民間クラブと情報共有し、支援の拡大を検討したい。

ほかの質問

ケーブルテレビ

子どもの送迎にファミサポ事業の活用を

遠藤 初子 議員



議員 冬季間、子どもが一人で下校するのが危険だという地域の声があるが、小・中学生の下校にファミサポ事業(※2)を活用できないか。

健康福祉部長 ファミサポ事業の援助対象は生後2か月から小学6年生までで、保護者が仕事等で対応できないときの習い事や学童等への送迎、援助する方の自宅での預かりなどの援助を行っている。そのため、小学生は下校での利用が可能であるが、援助できる方が少なく、現在のニーズにも十分に答えられていない状況であることから、中学生までの対象拡大については、状況を把握しながら検討していきたい。

ほかの質問

オーガニックビレッジ宣言、高齢者世帯等雪下ろし費用補助事業と各地域における除雪対策

※2 ファミサポ事業…ファミリー・サポート・センター事業。子育ての援助を希望する人と援助できる人がそれぞれ会員として登録し、地域において子育ての助け合いを行うもの。

共通投票所の設置で 投票機会の確保を

中 沢 深 雪 議員



議員 既存の投票所とは別に、いずれの投票区の選挙人も投票できる共通投票所を、ショッピングセンターや大学に設置することで利便性の向上に、また、病院やバリアフリー施設に設置することで障がい者等の投票機会の確保につながるのでは。

選挙管理委員会委員長 導入に当たっては、二重投票の防止対策が課題であり、共通投票所と現在ある84か所の投票所全ての投票の記録をリアルタイムで確認できるようにする必要がある。全国的にまだ設置例が少なく、他市町村の状況を参考にしながら見極めていきたい。

ほかの質問

致道館中学校・高等学校

インボイスで 免税事業者は消費税増か

本 間 信 一 議員



議員 免税事業者が課税事業者になった場合のメリットとデメリットは。

総務部長 メリットは取引相手先の事業者には仕入税額控除が認められ、取引での税負担の問題がなくなることで、デメリットは消費税の納付と経理処理などの事務負担の増加が考えられる。

議員 免税事業者のまま問題がないケースは。

総務部長 取引先が一般消費者、免税事業者、簡易課税制度を選択している事業者のみの場合が想定されるが、個々の事業者で状況は異なる。

議員 本市で課税事業者に変更した事業者数は。

総務部長 令和5年9月現在、約370者である。

ほかの質問

なし

インバウンドの現状と 課題は

佐 藤 麻 里 議員



議員 観光・宿泊施設の入込客の状況、傾向は。

商工観光部長 1月～8月の入込客は約312万人で前年より42万人増加し、首都圏、隣県からの観光客が増えている。インバウンドは約4,000人で、その約8割が欧米豪からである。

議員 外航クルーズ船乗客の本市への来訪数は。

商工観光部長 羽黒山に518人、加茂水族館に336人の計854人がツアーで来訪した。

議員 通訳ガイドの状況は。

商工観光部長 英語のガイド21人、中国語1人、韓国語は0人で、インバウンド需要が回復する中、ガイドの強化は重要な課題と捉えている。

ほかの質問

市立図書館

保育施設の将来ビジョンは

阿 部 寛 議員



議員 少子化や物価高騰、保育士不足等によって保育園の運営はますます厳しくなっている。建物の老朽化や地域事情等を踏まえ、保育園の統合など保育施設の将来ビジョンは。

健康福祉部長 7年度を始期とする第三期子ども・子育て支援事業計画を来年度に策定する。この計画策定の中で、保護者のニーズや過去の利用実績に基づいて幼児教育・保育の量の見込みを出すことになっている。併せて、地域や民間保育所の実情などを勘案しながら、公立保育園の在り方も含めた検討を行い、方向性を示したいと考えている。

ほかの質問

農業振興

3月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27 本会議 (開会・総括質問)	28 予算特別委員会	29 本会議 (一般質問)	3/1 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	2
3	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 予算特別委員会	6 総務 常任委員会	7 市民文教 常任委員会	8 厚生 常任委員会	9
10	11 産業建設 常任委員会	12 常任委員会 予備日	13 常任委員会 予備日	14	15	16
17	18 議会運営委員会	19 予算特別委員会	20 (春分の日)	21 本会議 (表決・閉会)	22	23
24	25	26	27	請願・陳情提出期限 2月19日(月)午後1時		

※各会議の開会時刻は午前10時です。
午後にはわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

議会を傍聴してみませんか

◆「本会議」は議場の傍聴席で傍聴できます。
本所4階ロビーで傍聴の受付を行っています。
傍聴の定員は64人です。

◆「委員会」は各会議室で傍聴できます。
本所2階の議会事務局で傍聴の受付を行っています。
傍聴の定員は5人〜20人程度です。
※本会議又は委員会を団体で傍聴する場合は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

◆「本会議」は本所及び各庁舎市民ロビーのテレビモニターで生中継しています。また、市議会ホームページ・YouTubeでは生中継及び録画配信も視聴できます。

議会を傍聴するには

議会傍聴アンケート

本会議を傍聴された方から寄せられたご意見・ご感想(一部抜粋)を紹介します。

- ・市民が傍聴に来るよう、ホームページにもう少し工夫が欲しいと思った。話されている内容は有意義なものなので、もっと多くの方に傍聴してほしい。
- ・議員さんたちの様々な視点からの問題提起があり、幅広い議論が良かったし、楽しいものでした。身近な問題も取り上げられていました。



傍聴の様子

議会の会議録を閲覧するには

◆本所及び各庁舎の市民ロビー、鶴岡地域の各コミセン、図書館本館において、会議録を閲覧できます。

◆インターネットで会議録の閲覧・検索ができます。市議会ホームページをご覧ください。

編集後記

今号から新しい広報広聴委員での編集となりました。

市議会だよりは、市議会活動の状況を広く市民にお知らせし、議会に対する理解と認識を深めてもらうことを目的としています。

委員会では、「市民に親しまれ、分かりやすい市議会だより」を目標に編集していますが、引き続き、紙面の改善に努めていきます。また、ホームページやSNSを活用した速達性のある情報発信や市民の皆さんの多様なご意見を伺う広聴活動も充実させていきたいと考えております。どうぞご意見をお寄せください。

広報広聴委員会

委員長 長谷川 剛



小野 由夫 本間 正芳 草島 進一 佐藤 久樹 黒井 浩之
石井 清則 長谷川 剛 南波 純
(副議長) (委員長) (副委員長)

発行/鶴岡市議会 編集/広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25
電話 0235-35-1908 FAX 0235-25-2123
メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp